

(様式3)

事業所名 グループホームこまくさの森

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 9 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を共有し実践することができていない。	理念を理解し、利用者に対してサービスを提供することができる。	理念の唱和や研修などを行い、理解しサービスを実践する。理念に沿わない支援をしている場合は、カンファレンスなどにて支援について職員で共有し実践していく。	6ヶ月
2	2	地域との交流が図れていない。	地域の方達にグループホームのことを知ってもらおう。	運営推進会議の実施。地域の学校と連携を図る。施設の方から積極的に地域へ出る。	12ヶ月
3	26	①利用者の生活が24時間シートに適宜反映できていない。チームとして共有できておらずモニタリングまでの間、個々で違う支援をしていることに気が付かなかった。②GHとしての利用者の生活の在り方、考え方がバラバラであり、皆が同じ方向を向いていない。何を軸に支援していくのか、チーム・施設として考えることが課題である。	①根拠をもとに支援内容を統一し、サービスを提供することができる。②理念・認知症ケアを軸にサービスの提供をすることができる。	①前提として利用者の様子は常に変わるものだと理解した上で、日々の生活において見極め、記録に落とししていく。利用者の様子に変化があれば会議の場で24時間シートを適宜、追加修正する時間を設ける。②理念については上記に掲げたことを行う。認知症ケアについては、チーム・施設の課題を挙げOJT・OFFJTを行い、考え方を同一方向へ向ける。現場に落とし込む為に、学んだことを会議で再確認し、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)で現場実践していく。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。